

市民病院に求める医療について
持続可能な医療提供体制の構築に向けて

～すべての人が安全で安心して暮らし続けられるまちを目指して～
 「災害」や「新興感染症等」の発生時に備えた体制整備

公立病院として、災害やパンデミックなどの新興または再興感染症発生時においても、市内の医療提供体制を維持できるよう、ハード・ソフト両面での体制強化を図り、平時より、地域医療の中核病院として、救急・急性期医療を担う。



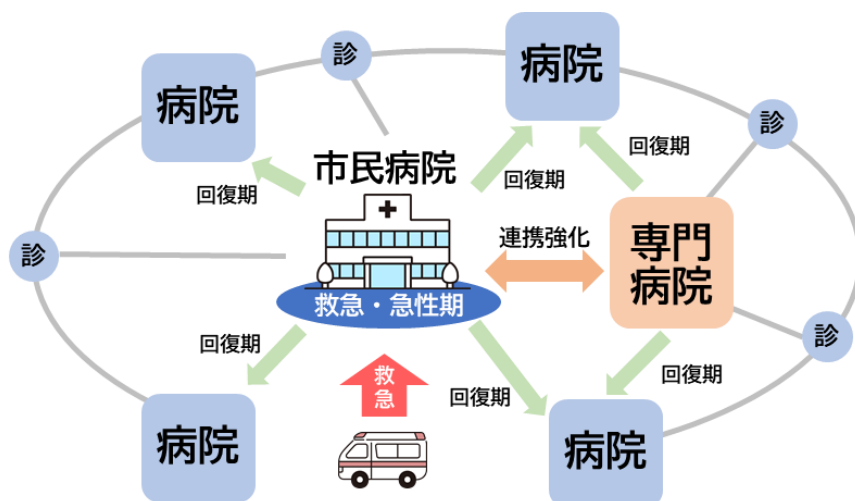
総合病院として幅広い診療科に対応する現在の医療機能をベースに
 地域の医療機関との役割分担と連携を意識した体制強化を図る。

体制強化が望まれる領域

- ・救急医療
- ・小児医療
- ・循環器系疾患
- ・併存疾患（精神・神経内科）
- …増加する認知症等への対応など

**機能分化・連携強化
 に対応する領域**

- ・周産期医療
- ・がん
- ・在宅医療（在宅療養支援）



<救急・急性期を核とした地域の機能分化・連携強化のイメージ>

新たな地域医療構想

地域の実情に応じて、「治す医療」を担う医療機関と「治し支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確化し、医療機関の連携・再編・集約化を推進することが重要

明石市立市民病院

「治す医療」

「治し支える医療」